



# 東亞合成株式会社

2020年12月期  
第2四半期決算説明会資料

**2020年8月7日**

## 連結の範囲

連結子会社数 : 19社 (前期比2社減。物流子会社2社清算終了)

持分法適用会社数 : 2社 (変更なし)

	2019.2Q	2020.2Q	増 減	
売上高 (百万円)	72,023	65,775	△6,248	△8.7%
営業利益 (百万円)	7,305	5,665	△1,640	△22.4%
営業利益率	10.1%	8.6%	△1.5%	—
経常利益 (百万円)	8,053	6,200	△1,852	△23.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	5,537	3,786	△1,751	△31.6%
1株当たり四半期純利益 (円)	42.07	28.82	△13.25	—
第2四半期配当 (年間) (円)	15.0 (30.0)	15.0 (30.0)	— (-)	

## <事業環境>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響から世界経済は大幅に停滞
- ・緊急事態宣言解除後も感染者数は再び増加し収束への目途立たず
- ・原油やナフサ価格も低下し、一部汎用製品の販売価格が値下がり

## <2020年第2四半期決算>

1. 自動車関連をはじめとした広範な産業分野で需要減退  
⇒ 不要不急の支出抑制するも減収・減益決算
2. 半導体関連や抗菌・抗ウイルス関連の需要は堅調  
⇒ 新常態に向けた産業構造変化の動き
3. 中長期的施策は着実に実行  
⇒ 研究開発推進、自社株式の取得など中長期的な企業価値向上のための取り組みは予定どおり実行

## 売上高（連結部門別）

（百万円）

	2019.2Q	2020.2Q	売上増減		
			数量差	単価差	増減額
基幹化学品	32,692	28,748	△2,673	△1,269	△3,943
ポリマー・オリゴマー	14,566	13,684	△733	△148	△881
接着材料	5,475	4,849	△453	△173	△626
高機能無機材料	4,113	4,447	212	121	333
樹脂加工製品	13,285	12,179	△1,133	27	△1,106
その他	1,889	1,865	△23	0	△23
合計	72,023	65,775	△4,805	△1,441	△6,248

## 営業利益（連結部門別）

（百万円）

	2019.2Q		2020.2Q		増減
	営業利益	営業利益率	営業利益	営業利益率	
基幹化学品	2,805	8.6%	1,995	6.9%	△809
ポリマー・オリゴマー	1,922	13.2%	1,693	12.4%	△229
接着材料	757	13.8%	291	6.0%	△466
高機能無機材料	1,197	29.1%	1,300	29.2%	103
樹脂加工製品	579	4.4%	359	2.9%	△220
その他・調整額	43	—	26	—	△17
合計	7,305	10.1%	5,665	8.6%	△1,640

## 【営業外損益】

(百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	増 減
受取利息・配当金	644	495	△148
持分法による投資利益	140	158	17
固定資産賃貸料	133	161	28
雑 収 入	114	112	△2
為 替 差 益	33	-	△33
支 払 利 息	△47	△47	0
為 替 差 損	0	△217	△217
環 境 整 備 費	△195	△50	145
遊 休 設 備 費	△25	△17	8
雑 支 出	△51	△59	△8
合 計	747	535	△212

## ・持分法利益

(百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	差 異
イルマース・トウアコウセイ	126	117	△9
中 部 液 酸	47	137	90
合 計	173	254	81

## 【特別損益】

(百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	増 減
固定資産売却益	3	-	△3
投資有価証券売却益	5	-	△5
補助金収入	9	-	△9
固定資産処分損	△28	△233	△204
投資有価証券評価損	-	△361	△361
合 計	△10	△595	△584

## ・固定資産処分損

2020年：高岡工場建物撤去、川崎工場変電設備更新  
アロン化成工場再編成関連撤去 など

## ・為替レート

(円/US\$)

2019年6月末	2019年12月末	2020年6月末
107.79	109.56	107.74

# 連結貸借対照表

(百万円)

	2019.12	2020.6	増 減
現 預 金	32,989	40,013	7,023
売 掛 債 権 ①	42,534	37,396	△5,138
有 価 証 券	44,000	35,000	△9,000
棚 卸 資 産	18,161	18,924	763
その 他 流 動 資 産	1,275	3,227	1,952
固 定 資 産	74,376	76,451	2,074
投 資 有 価 証 券 ②	28,711	25,284	△3,426
その 他 固 定 資 産	5,165	5,085	△79
資 産 合 計	247,211	241,382	△5,829
支 払 債 務	14,413	12,374	△2,038
借 入 債 務	11,534	11,455	△79
未 払 法 人 税 等	2,030	1,660	△369
その 他 負 債 合 計	20,652	18,839	△1,815
負 債 合 計	48,632	44,330	△4,302
純 資 産 合 計 ③	198,579	197,052	△1,527
負 債・純 資 産 合 計	247,211	241,382	△5,829

## 【貸借対照表】

- ①売上高減少に伴い売掛債権減少
- ②投資有価証券の時価評価額減少
- ③自己株式の取得などから純資産減少

## キャッシュフローの状況

(百万円)

	2019.2Q	2020.2Q	増 減
営 業 C F	13,104	12,482	△621
投 資 C F	△8,148	△7,218	930
F C F	4,955	5,264	308

（百万円）

会社名	部門	持分 (%)	売上高		営業利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
			19/2Q	20/2Q	19/2Q	20/2Q	19/2Q	20/2Q
1 東亜テクノガス	基幹化学品	100	2,250	2,135	142	171	106	133
2 (大分ケミカル)	↓	91.15	6,622	5,364	△14	△15	△26	△22
3 トウゴウケイ・シンガポール	↓	100	1,753	1,198	51	32	90	71
4 (MTIフレノカーボネート)	↓	90	265	234	2	2	2	2
5 MTアクアポリマー	ポリマー・樹脂	51	5,148	4,949	367	308	254	215
6 台湾東亜合成	↓	100	569	623	26	47	22	37
7 東昌化学	↓	51	865	639	42	46	43	38
8 張家港東亜迪愛生化学	↓	90	792	654	25	76	17	34
9 トウゴウケイ・タイランド	↓	100	129	1,081	△72	△10	△127	△72
10 トウゴウケイ・アメリカ	接着材料	100	865	729	△3	△61	30	23
11 (アロン包装)	↓	100	131	126	0	0	0	0
12 東亜合成香港	↓	100	138	144	13	17	74	16
13 東亜合成珠海	↓	100	205	193	37	3	33	14
14 アロン化成	樹脂加工	100	13,300	12,186	640	515	444	239
15 アロンケイ・タイランド	↓	100	2	24	△24	△159	△24	△161
16 東亜興業	その他	100	490	486	△14	△3	3	5
17 東亜ビジネスアソシエ	↓	100	1,055	1,228	11	45	8	31
18 TGコーポレーション	↓	100	6,169	5,752	169	186	116	128
19 (東亜物流)	↓	100	222	273	11	29	25	35
20 (四国東亜物流)	↓	70	619	-	0	-	0	-
21 (北陸東亜物流)	↓	90	0	-	0	-	0	-
単純合計			41,598	38,018	1,411	1,229	1,096	766

( ) の会社は、ほぼ全量が当社との取引

世界各国のコロナ禍回復スピードに差、米中対立の激化

国内の感染拡大防止策と社会経済活動活性化策の行方不透明

**景気最悪期は脱するも、当下半期はL字回復程度と予想**



1. 従業員の健康維持、安全・安定操業の継続
2. 適切なタイミングによる設備投資活動の継続
3. 時代の要請に応える先端分野の製品開発に注力

**中計「Stage up for the Future」で定めた  
高付加価値化路線に変更なし**

(百万円)

	2019年間実績 (A)	2020上期実績	2020下期予想	2020年間予想 (B)	増減 (B-A)
売上高	144,955	65,775	68,225	134,000	△10,955
営業利益	13,782	5,665	6,335	12,000	△1,782
営業利益率	9.5%	8.6%	9.3%	9.0%	-0.6%
営業外損益	1,447	535	364	900	△547
経常利益	15,230	6,200	6,699	12,900	△2,330
特別損益	60	△595	△104	△700	△760
税前利益 (a)	15,290	5,605	6,594	12,200	△3,090
法人税等及び同調整額 (b)	△4,634	△1,691	△2,008	△3,700	934
税負担率 (b)/(a)	30.3%	30.2%	30.5%	30.3%	0.0%
非支配株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	△268	△127	△172	△300	△31
親会社株主に帰属する当期 (または四半期)純利益	10,387	3,786	4,414	8,200	△2,187
配当 (円)	30			30	-
< 参 考 >					
為替レート (期中平均) (円/US\$)	¥109.45			¥110.00	
ナフサ価格 (円/kl)	¥42,025			¥27,000	

(注) ナフサ : k l 当たり1千円の変動で±300百万円。為替 : 1円/US\$の円安で△70百万円。

# 2020年連結業績予想（部門別）

## 売上高

（百万円）

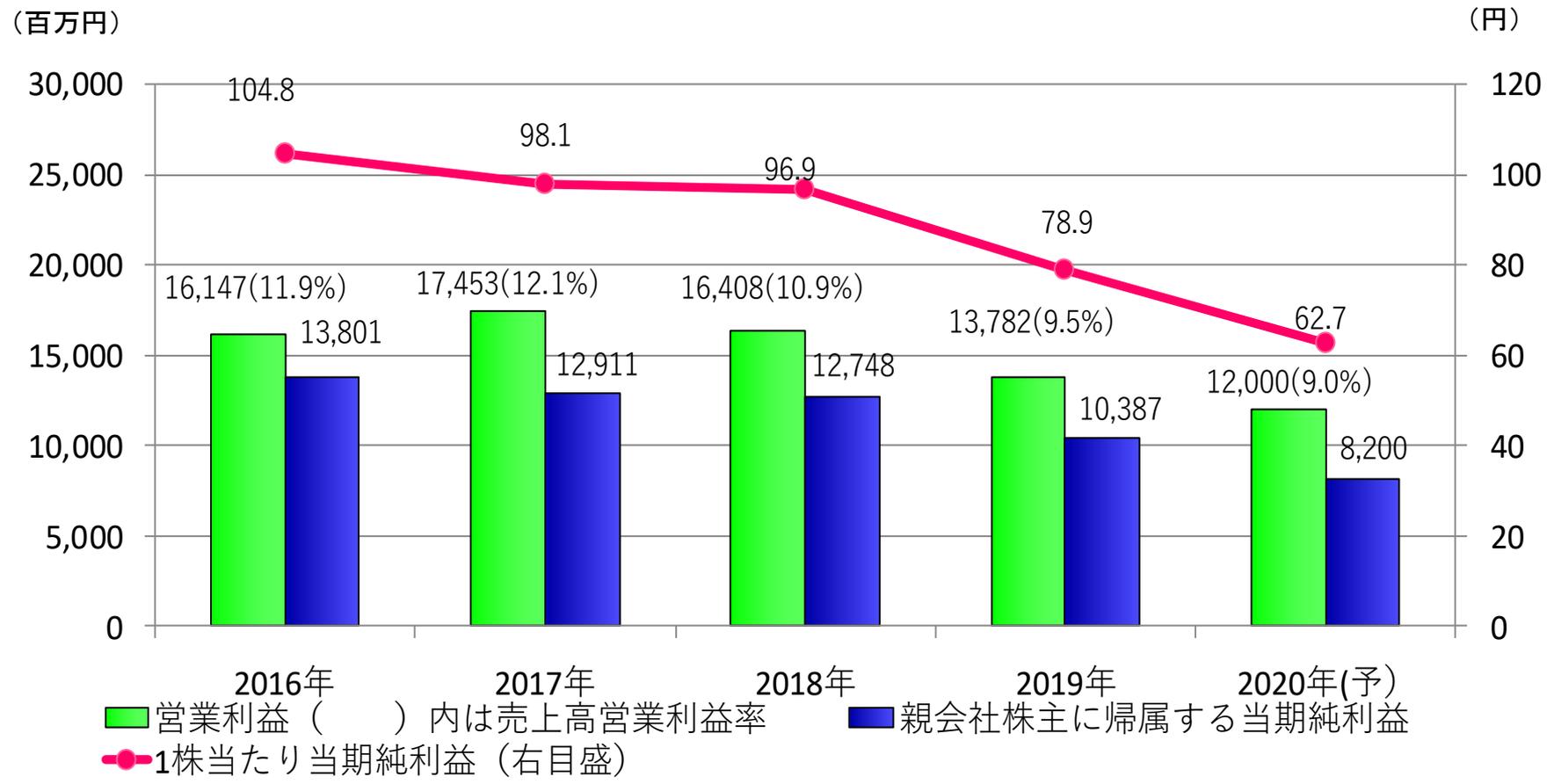
	2019実績	2020予想	増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	65,667	58,100	△7,567	[減収] アクリルモノマー、他モノマー、工業用ガス
ポリマー・オリゴマー	29,112	27,800	△1,312	[減収] アクリルモノマー、光硬化型樹脂、高分子凝集剤
接 着 材 料	11,174	9,900	△1,274	[減収] 機能性接着剤、瞬間接着剤
高機能無機材料	8,148	9,000	852	[増収] 高純度無機化学品、無機機能材料
樹脂加工製品	27,079	25,400	△1,679	[減収] 管工機材製品、ライフサポート製品
そ の 他	3,772	3,800	28	
合 計	144,955	134,000	△10,955	

## 営業利益

（）内は営業利益率

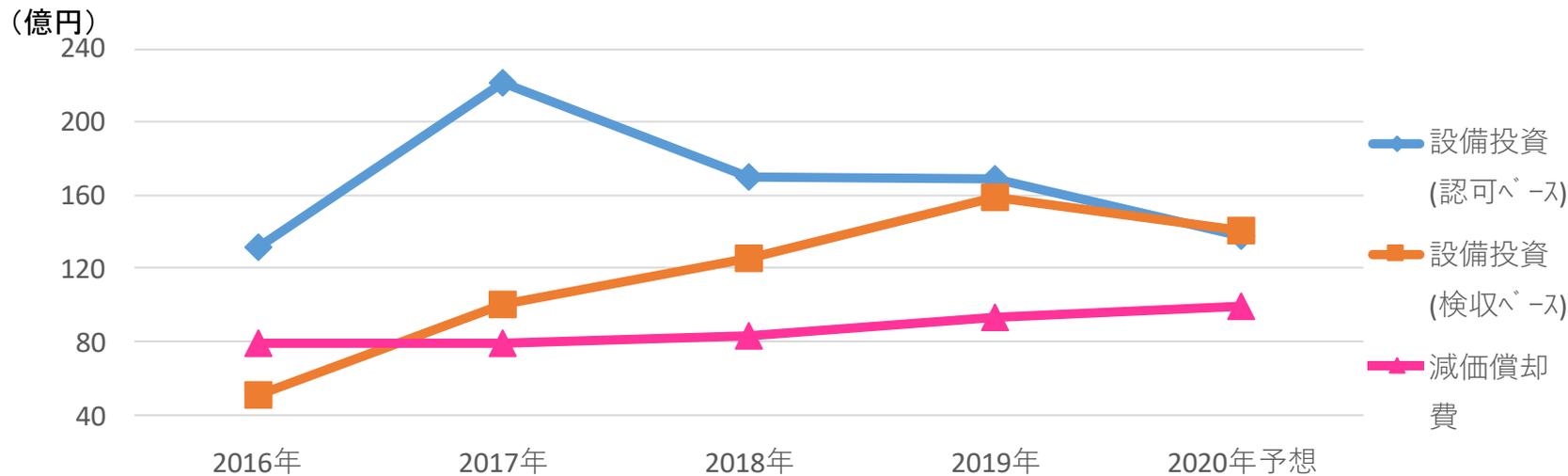
（百万円）

	2019実績	2020予想	増 減	増減要因
基 幹 化 学 品	5,442 (8.3%)	4,600 (7.9%)	△842	[減益] アクリルモノマー、他モノマー
ポリマー・オリゴマー	3,526 (12.1%)	3,600 (12.9%)	74	[増益] 高分子凝集剤、光硬化型樹脂
接 着 材 料	1,356 (12.1%)	500 (5.1%)	△856	[減益] 機能性接着剤
高機能無機材料	2,116 (26.0%)	2,500 (27.8%)	384	[増益] 高純度無機化学品、無機機能材料
樹脂加工製品	1,233 (4.6%)	700 (7.8%)	△533	[減益] 管工機材製品、ライフサポート製品
そ の 他	106	100	△6	
合 計	13,782 (9.5%)	12,000 (9.0%)	△1,782	

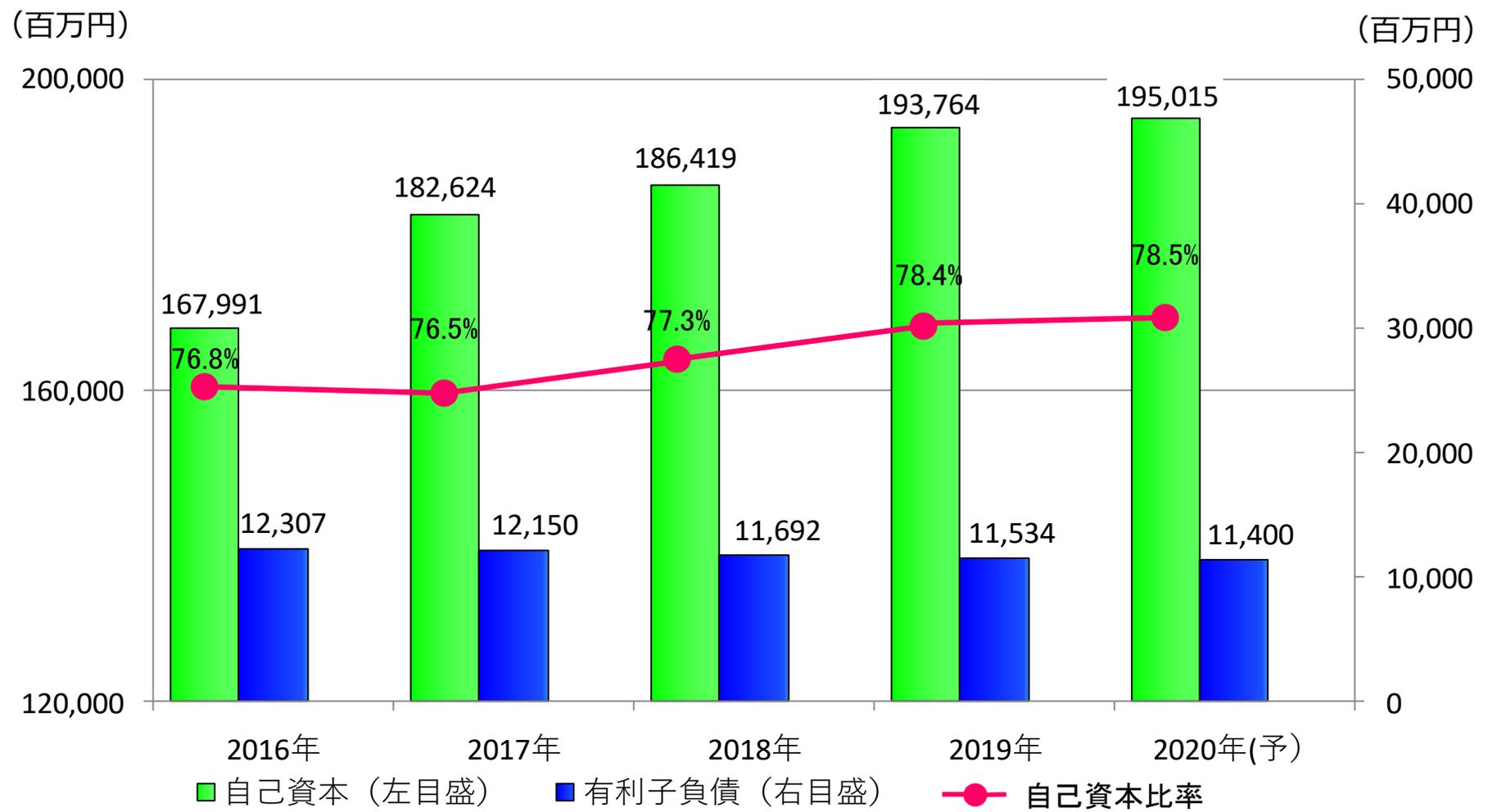


(億円)

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年予想
設備投資 (検収ベース)	51	100	125	158	141
設備投資 (認可ベース)	132	221	170	169	138
減価償却費	79	79	83	92	99
試験研究費	36	37	36	37	40
海外売上高	216	242	245	226	226
有利子負債	123	121	116	115	114

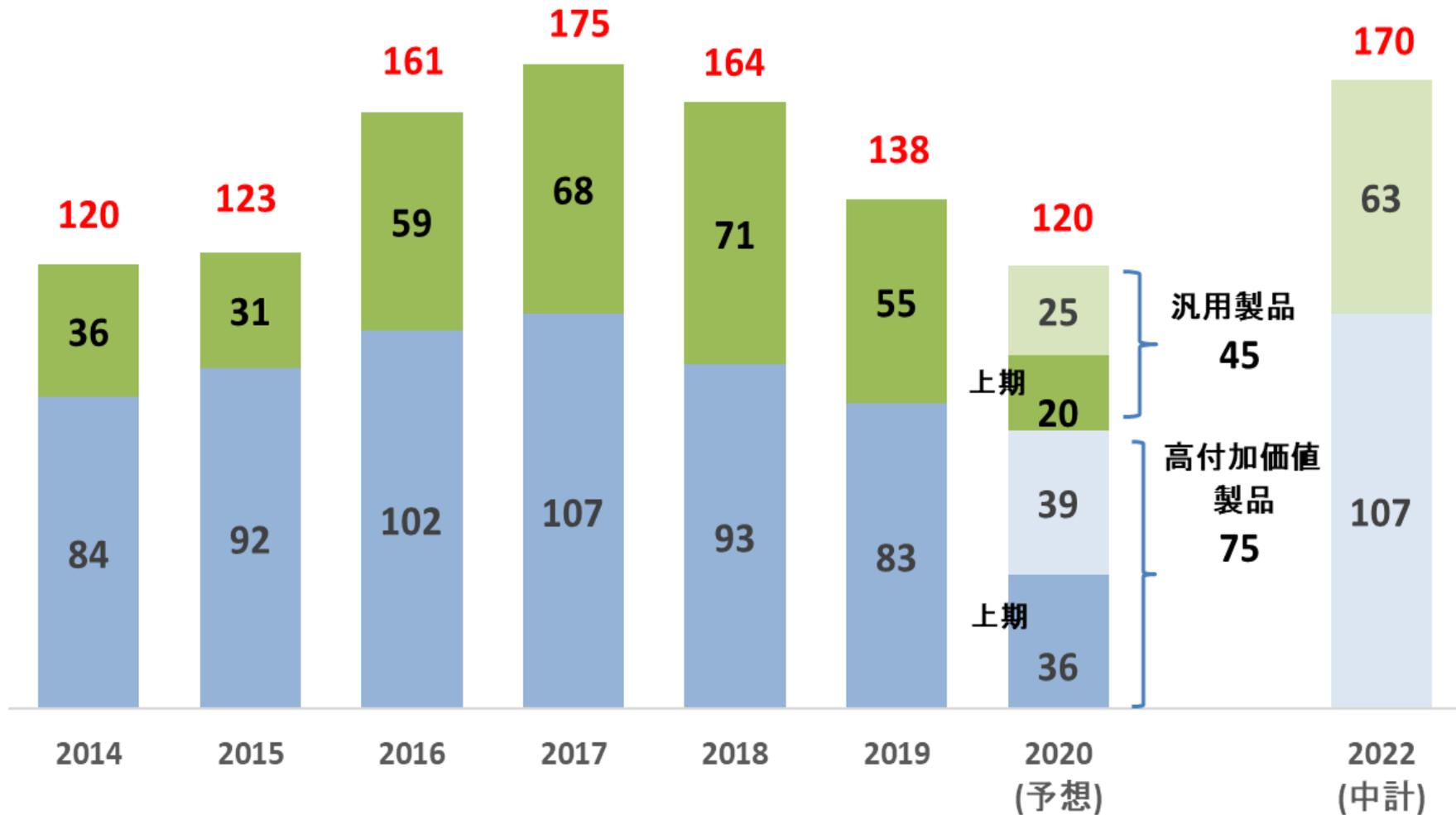


# 連結経営参考数値の推移



※「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2019年から適用しており、自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。

■ 高付加価値製品 ■ 汎用製品



## ポリマー・オリゴマー事業

「アロニックス®」 新製法「エステル交換法」の量産設備稼働  
 トルエンフリーで環境に優しい、高純度により電子材料の高い  
 品質要求に対応、完全水溶性などの特徴を活かした新用途  
 （防曇塗料など） 展開等、大きな可能性を持つ新製品の量産  
 体制が確立しました。今中計で売上規模 3 ～ 5 億円/年達成  
 を計画します。



## 接着材料事業

### 一般用「アロンアルファ®」 中国への拡販

中国最大のインターネットショッピング・モールであるアリババ  
 グループ「T-mall（天猫）」でのオンライン販売を開始。

従来からの製品に加えて、新商品も積極的に投入し、今後  
 拡大する eコマースマーケットをターゲットに早期にTOPシェアを  
 確保すべく取り組んでまいります。



## 高機能無機事業

### 無機機能材料の製造設備を拡充

新型コロナウイルスへの抗菌、抗ウイルス用途で需要が拡大。消臭、抗アレルギーなど、健康で快適な生活環境を実現する製品としてニーズも高まり、製造設備を拡充。さらなる品質向上と製品ラインナップの拡充を図り、事業の拡大に繋がります。

### 高純度液化塩化水素 横浜工場の充填設備を新設

半導体業界のさらなる高品質化と需要増へ対応するための最新鋭の容器充填設備が完成。自動化と製品分析管理の高度化を推し進めることで、従来比1.3倍以上の生産性を実現。

ユーザーの高品質化ニーズと需要増に応えていくことで事業の更なる基盤強化を推進します。



## 基幹化学品事業

### 徳島に水素ステーション開設を決定

徳島県の「水素グリッド構想」賛同し、燃料電池自動車の普及促進のため、「日本水素ステーションネットワーク合同会社」と共同で徳島工場隣接地に水素ステーションを設置することを決定。水素社会の実現と持続可能な社会の促進に貢献していきます。

